



【国際会計論 第1回】

イントロダクション

担当教員： 孫美灵

2020年9月29日



新型コロナウイルス感染予防と対面授業の受講

- ・感染が疑われるような自覚症状がある場合(体調不良時)は、登学禁止。
- ・マスクを必ず着用する。
- ・アルコール消毒液(教室前等に設置)により手指消毒する。
- ・教室の備品(机、パソコン等)を利用する際は、除菌シート等により除菌する。
- ・パソコン利用の際は、イヤホンについては各自で準備する。
- ・座席指定に従い、指定された席に着席し、他の席には座らない。全ての対面授業は座席指定。
- ・私語は厳禁。質問に答える際も必要以上に大声を出さない。
- ・使用済みマスクや除菌シート、ティッシュペーパーなどは感染予防のために必ずゴミ箱に捨てる。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリCOCOAをインストールする。

(新型コロナウイルス感染予防ハンドブック 学生向け(初版)2020年9月19日から抜粋。)

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス
2. 会計基準はなぜ必要なのか
3. アンケート調査など

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス

1.1 講義内容・進め方

1.2 評価方法

2. 会計基準はなぜ必要なのか

3. アンケート調査など

1.1 講義内容・進め方

❁ 主題と概要

本講義は、会計基準はなぜ必要なのか、国際会計基準はなぜ必要なのか、各国が国際会計基準を導入する動機は何か、各国がどのような方法で国際会計基準を導入しているのか、国際会計基準の導入は企業にどのような影響を与えたのかといった国際会計基準に関する素朴な質問について解説する形で進めます。

本講義は国際会計基準を逐一説明するのが目的ではありません。会計基準の国際化を通じて、企業活動の国際化について考えるきっかけを提供するのが目的です。

1.1 講義内容・進め方

❁ 到達目標

国際会計基準に関する基本概念が習得できるとともに、会計基準における国際化を様々な視点から観察することによって企業活動の国際化とは何かについて、深く考えることができます。

❁ 履修対象者

簿記や会計の基礎知識を持っていて、会計に興味のある学生を対象とします。

「基礎簿記」や「商業簿記Ⅰ」などを履修済みで、簿記の基本用語が理解できたほうが望ましいです。

1.1 講義内容・進め方

回	講義内容
第1回	企業活動のグローバル化と会計基準①
第2回	企業活動のグローバル化と会計基準②
第3回	企業活動のグローバル化と会計基準③
第4回	制度の標準化と国際会計基準の導入①
第5回	制度の標準化と国際会計基準の導入②
第6回	制度の標準化と国際会計基準の導入③
第7回	各国における国際会計基準の導入①
第8回	各国における国際会計基準の導入②
第9回	各国における国際会計基準の導入③
第10回	各国における国際会計基準の導入④
第11回	国際会計基準の特徴①
第12回	国際会計基準の特徴②
第13回	国際会計基準の特徴③
第14回	国際会計基準の特徴④
第15回	国際会計基準の特徴⑤

以上の計画は、講義の進み具合によって多少変更する場合があります。また、**コロナの関係**
で後期も定期試験が実施できない場合は、15回目の講義で試験を実施します。

1.1 講義内容・進め方

✓ <教科書>

指定のテキストはございません。講義中、資料を配布します。

✓ <参考図書>

橋本 尚・山田善隆著『IFRS会計学基本テキスト(第6版)』、中央経済社、2018年。

1.2 評価方法

平常点

課題・ディスカッション 60点

発言点

α 点

期末試験

40点

合計 100点 + α

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス
2. 会計基準はなぜ必要なのか
3. アンケート調査など

2. 会計基準はなぜ必要なのか

(1.) によって (2.)
株主が存在する

→ 経営者と株主の間には (3.) が存在する

→ (3.) を解消するため、経営者は株主に対して (4.) を行う (ディスクロージャー、情報開示)

→ 財務報告のルールを法律、会計基準で決めておくと、
(5.) もものになる

→ 株主は安心して投資し、 (6.) が活発になる

∴ 会計基準は経済発展のための重要な (7.)

本日の学習内容(目次)

1. 本講義のガイダンス
2. 会計基準はなぜ必要なのか
3. アンケート調査など